



メダカ手づくりペットボトル水槽セット後1週間で産卵に成功!!

教師も児童も大興奮、感動、歓声が理科室に響く。理科室で生命の誕生が今この瞬間に。子どもたちのぞく双眼実体顕微鏡の奥には、命が美しく輝き映し出されています。

メダカの卵を毎時間顕微鏡で観察を続けて、成長過程を調べていこうと思います。「メダカは卵の中で何かからつくられていくと思いますか?」と予想しました。その順をランキングにまとめてみました。

- 1位 心臓
- 2位 目
- 3位 内臓
- 4位 血管(血液)
- 5位 骨や体

そんな中、ある一人の児童がこんな予想を立てました。それに、私は大感動しました。「**1 命 2 心臓 3...**」まず、心臓よりもまず先に命が誕生するという考えでした。素晴らしい感性だなと感心しました。

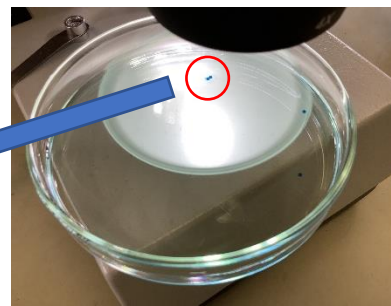
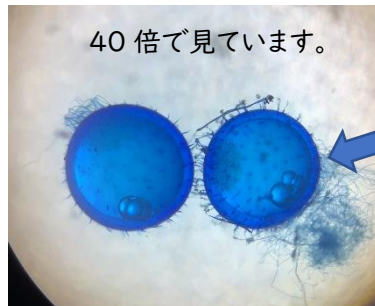
メスの卵とオスの精子が結びつき、受精し受精卵となったとき、それはもう命が誕生したということです。

これから、メダカの成長とともに、たくさんの発見をしていくことを期待したいと思います。以下は、※双眼実体顕微鏡で観察したメダカの卵です。



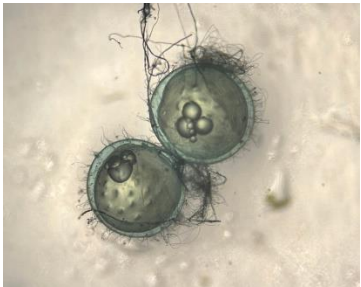
LED ライト&充電式

※公益財団法人中谷医工計測技術振興財団科学教育振興【意欲的な小学校の先生方を支援するプログラム】助成(2年目)において、新たに10台購入しました。3台は南郷里小にあります。7台はCST教員のいる長浜北小へ貸し出しをしています。2人で1台使える数で授業が可能です。



卵が入ったシャーレを顕微鏡に乗せて観察します。

※青いのは卵の白カビを防ぐための消毒液「メチレンブルー水溶液」の色です。



卵の中の泡のような丸いものは一体何なのか!?みんなで成長の変化とともに見つけていこう!